

全国都市緑化よこはまフェアの取り組み状況について

現在、本年 3 月 30 日に実行委員会で承認いただいた実施計画に基づき、平成 29 年 3 月の開催に向け、精力的に準備を進めています（別紙 1 参照）。

今回、屋外出展に向けた取組と、里山ガーデンの最寄駅からの交通輸送計画の進捗状況について報告します。

1 屋外出展に向けた取組

会場整備の一環として、自治体、企業・団体、学校、市民の皆様による花壇・庭園等の出展に向けた取組を展開しています。

（11 月末時点の取組状況）

区分		概要	場所	出展・参加予定数
自治体		各自治体がデザインした花壇を展示	日本大通り 横浜公園	22 自治体
企業・団体		出展者が場所ごとに設定されたテーマに基づき庭園や花壇などを作成	象の鼻パーク 新港中央広場 運河パーク グランモール公園	43 企業・団体
学校	小学校・特別支援学校	動物を描いたプランターカバー作成	里山ガーデン	31 校
	中学校	蝶をかたどった木アート作成	里山ガーデン	20 校
	高校、大学	花壇の植え付け、出展	新港中央広場など	募集中
市民		ハンギングバスケットの出展	港の見える丘公園	12 月募集開始

2 里山ガーデンの最寄駅からの交通輸送計画

（1）基本的な考え方

公共交通機関による来場については、最寄駅である JR 横浜線 中山駅、相鉄線 鶴ヶ峰駅・三ツ境駅からの路線バス利用を基本とします（→）。

（2）実施計画からの見直し

会期中の土日祝日は、渋滞する中原街道を経由せず、中山駅周辺から会場に直接アクセスできるシャトルバスの運行を検討していました（---→）。

来場者がより円滑にアクセスできるよう、鶴ヶ峰駅から西ひかりが丘までの既存バス路線を案内するとともに、中山駅から西ひかりが丘までの既存バス路線の増便をする方向で、バス事業者と調整を進めています（→）。



里山ガーデン来場ルート

第33回全国都市緑化よこはまフェア実施計画（概要版）

開催概要

名称 第33回全国都市緑化よこはまフェア
愛称 ガーデンネックレス横浜2017※
開催期間 2017年3月25日（土）～6月4日（日）（72日間）
会場構成 ・みなとガーデン（都心臨海部会場）
〔山下公園、グランモール公園、港の見える丘公園、
横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク、新港中央広場
運河パーク〕
・里山ガーデン（郊外部会場）
〔横浜動物の森公園植物公園予定地〕
主催者 横浜市、公益財団法人 都市緑化機構
運営主体 第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会
想定来場者数 500万人

開催理念

『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』をテーマ
に美しい花と緑豊かなまち横浜の実現

開会式 平成29年3月25日（土）
場所：大さん橋ホール
閉会式 平成29年6月4日（日）
場所：大さん橋ホール
全国都市緑化祭 フェア会期中（1日）

愛称・ロゴマーク・シンボルキャラクター

※『ガーデンネックレス』

ロゴマーク

シンボルキャラクター
「ガーデンベア」

公園などの魅力ある花と緑の資源にさら
に磨きをかけ、美しい「ガーデン」をつ
くります。
それらが回遊できるよう「ネックレス」
のようにつながり、横浜の歴史や文化、
緑の取り組みなど、まち、人、時をつな
ぎ、美しい横浜を表現します。



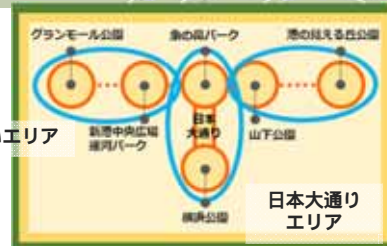
会場

市内の会場位置



みなとガーデン コンセプト『歴史と未来の横浜』

開港とともに築かれた歴史的建造物の緑化や観光地として魅力ある景観を花
と緑で引き立てるだけでなく、みなとみらい地区に代表される新しい横浜を
緑化壁など緑化技術で演出します。



山下・山手
エリア

メイン会場

里山ガーデン コンセプト『緑豊かな横浜』

里山の魅力、楽しみ方を身近に実感、体感できるよう、市内で最大級となる花の景観
や、自然の樹林を使ったアスレチックなど、子どもから大人まで楽しめる会場を目指
します。



花や緑にかかわる魅力ある場所を「パートナー会場」とします。
広報やイベント等で連携を図り、メイン会場との相乗効果を高め
ます。
また、市内全域でよこはまフェアを展開するため、市内18区と
連携した事業を進めます。

ハマを彩る 100万本の花でお出迎えします。

サクラ (3月下旬～4月下旬)



サクラコンテナ (山下公園例)

自動車道やさくら通り等既存のサクラに加え、山下公園などに、100基のシドモア桜のコンテナが出現します。まちがサクラの花見会場になります。

チューリップ (3月下旬～4月下旬)



チューリップ新品種「ラバースタウン」

横浜公園の16万本のチューリップを中心に、合計30万本のチューリップが街を彩ります。時間とともに色が変化する新品種の「ラバースタウン」にも注目！ (株)サカタのタネ協力

バラ (5月上旬～6月上旬)



港の見える丘公園

みなとガーデンでは3つの異なるテーマのバラ園 (山下公園：未来のバラ園、港の見える丘公園：イングリッシュローズの庭、香りの庭) に加え、『横浜イングリッシュガーデン』とも連携しながら展開します。

横浜らしい魅力の発信

イベント・屋内展示



横浜赤レンガ倉庫

横浜赤レンガ倉庫で、屋内ならではの展示やワークショップ等を実施します。みなとガーデン内の各会場では既存イベントと連携し、街に一層の賑わいを創り出します。

歴史的建造物



開港資料館・西洋館等

開港資料館や西洋館等、横浜の歴史的建造物を花や緑で飾り演出します。

日本フラワー&ガーデンショウ



開催例 (平成27年)

よこはまフェアを機にパシフィコ横浜に日本フラワー&ガーデンショウを誘致しました。主催者と連携して開催機運を盛り上げます。

市民連携花壇



花壇イメージ

横浜市の公園愛護会等が連携してつくる「球根ミックス花壇」。オランダの最新式の球根の植え方についてプロのガーデナーから教わりながら花壇を作っていきます。(山下公園)

フォトスポット



山下公園

よこはまフェアの会場内に、フォトスポットを設置します。花だけでなく横浜の景色や街並みを活かしたフォトスポットを展開します。

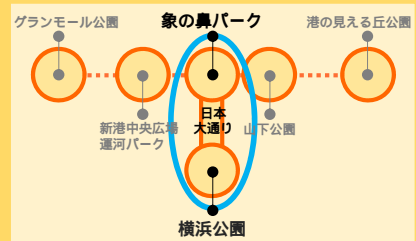
NHK「趣味の園芸」50thガーデン



ガーデンイメージ

番組放送50周年事業として、港の見える丘公園で、番組が1年をかけて『NHK「趣味の園芸」50th (50周年) ガーデン』を作ります。

みなとガーデン 日本大通リエリア



「花の日本大通り」

＜象の鼻パーク～日本大通り～横浜公園＞をみなとガーデンの中心会場として位置づけます。自治体出展花壇や企業出展花壇、主催者展示によるテーマフラワーを中心とした飾花により、「花の日本大通り」としてフェア開催期間（72日間）を通じて花で彩ります。

象の鼻パーク

ガーデンベアの庭

よこはまフェアのシンボリックなガーデンで出迎えます。



企業出展

「もてなしの庭」をテーマに全国から企業等が庭園を出展します。



象の鼻パークは横浜開港発祥の地になります。開港以来、多くの方をお出迎えしてきたことから「もてなしの庭」をテーマに庭園出展を展開します。

日本大通り



自治体出展花壇 街を彩る港からの贈り物

「コンテナから溢れだす各地の街並み・風景花壇」をテーマに、25自治体（予定）のコンテナ花壇が日本大通りを彩ります。



ばらサミット展

「ばら」を市町村の花として定めている自治体による会議（ばらサミット）に合わせ、参加自治体のばらを展示します。

横浜公園

16万本のチューリップ

市民の想いで咲かせた
16万本のチューリップが競演します。

横浜公園ではスプリングフェアに合わせて市民とともに植えた16万本のチューリップが咲き誇ります。市民協働は横浜の目指す都市緑化の重要なポイント。チューリップ後も花が楽しめるように演出します。



協働ガーデン

横浜DeNAベイスターズとの
協働ガーデンが登場します。

横浜が誇るプロ野球球団「横浜DeNAベイスターズ」と連携して、野球に親しめ、フォトスポットとなるような「ベイスターズガーデン」（仮称）を作ります。

I★YOKOHAMA



YDB

グリーンキューブ

緑化壁に囲まれたブースで横浜市内産の花・緑・農をPRします。



グランモール公園



グランモール公園では、緑化した壁面に囲まれたブースで横浜の花・緑・農をPRするとともに横浜市が進めているみどりの施策や将来につながる取組なども伝えます。また、企業の協力により、緑化壁の技術を紹介します。



昼 市の花であるバラと草花の華麗な共演による色彩のコンチェルトが楽しめる「未来のバラ園」として展開します。また、よこはまフェアの開催に合わせ新品種のバラも導入します。

夜 ローズゲートなどを活用したイルミネーションやライトアップで、沈床花壇の空間を立体感豊かに演出します。

未来のバラ園 (ライトアップ)

昼のバラ園そして夜のバラ園、二つの顔が楽しめます。



山下公園

世界の広場では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやつるバラで装飾します。

ナチュラルガーデン

花、風、木陰、横浜らしい風景でもてなします。



新港中央広場

新港中央広場では、季節の花と心地よい風や木陰でもてなします。横浜赤レンガ倉庫やランドマークタワーなど、歴史と都市が共存する横浜らしい風景もここならではの楽しみです。

企業・団体出展

全国から企業・団体による庭園出展を展開します。



新港中央広場

新港中央広場は、みなとみらい21新港地区の開けた広場として「ナチュラルガーデン」、運河パークは、「アーバンライフガーデン」をテーマとして庭園出展を展開します。

ハンギングバスケットの丘

100基のハンギングバスケットが港の景色を彩ります。

イングリッシュローズの庭

異国情緒のある、バラと暮らしを楽しめます。



港の見える丘公園

港の見える丘公園では、エントランスから展望台周辺のエリアでハンギングバスケットのコンテストを開催します。

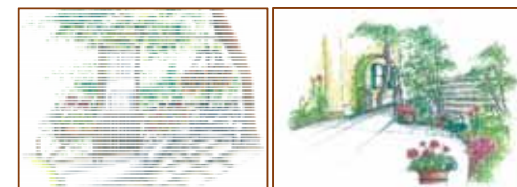


港の見える丘公園

イギリス館の前に広がるローズガーデンは、開港文化を現代に引き継ぐ西洋館とともに楽しめます。130品種、1,200株のイングリッシュローズとともにシルバーやブルーの一年草・宿根草で彩ります。

あこがれの西洋の庭と西洋館

横浜山手西洋館では、建物のイメージと合ったガーデンを楽しめます。



フォレストアスレチック

横浜の森の空中アスレチック

森を上から眺める！新鮮な感動に出会えます。



樹の上で、安全器具を設置して、さあ、空中大冒険。誰もが、新鮮な森に触れ真剣に楽しめます。大人は子供にかえり、子供は大人になる。今だけの体験は、自然や親子の絆も深めてくれます。(有料)

アクセス

会場へのアクセスの工夫 (裏面参照)

会場までの公共交通機関の利用促進をズーラシアと連携して広報するとともに、利便性の向上のため、混雑が予想される会期中の土日祝日は、中山駅周辺から会場に直接アクセスできるシャトルバスの運行等を検討します。また、車での来場者には、里山ガーデンに隣接するズーラシア北門駐車場を常時利用していただけるよう適切に誘導を行います。

移動

会場を楽しくめぐするための工夫

子どもたちが乗り物を楽しみ、幅広い年代の来場者が広い会場を回遊できるよう、会場内に移動バスを走らせます。また、ズーラシアと里山ガーデンを一体的に楽しめるように、ズーラシアとの行き来がしやすいような方法を検討します。



(園内移動バスイメージ)

里山ガーデン



谷戸の花畑・谷戸のカキツバタ園

美しい懐かしさ、谷戸のカキツバタ園

観覧デッキからのんびりと美しい風景を楽しめます。



谷戸を彩る数々の桜と一面に広がるナノハナ等の春の花々、桜の後は水辺に張り出した観覧デッキから、カキツバタとみずみずしい新緑、ヤマブキ等の美しいコントラストが楽しめます。

横浜の花で彩る大花壇

市内最大級、1ヘクタールの大花壇

春の花々が描き出す大キャンパスを楽しめます。



ゲートをくぐり林の中を抜けると・・・そこは巨大な花のキャンパス。サクラやチューリップをはじめたくさんの春を代表する花々がお出迎えます。デッキから眺めたり、一面の花畑の中をお散歩したり、どれもここでしかない体験です。また、横浜のパンジーの生産は、栽培面積で全国トップクラス。横浜の農家が丹精込めて育てた地場産の花々にも注目です。

胸が高まる正面入口広場



森の遊びや楽しみを体験する入口、生きものと出会う入口、花を楽しむ入口があり、それぞれの入口を進むと、フォレストアスレチックや大花壇などが待ち受けます。賑わいを彩る花壇や出展ブースとともに期待感が高まるエントランスです。

横浜の花と緑を楽しむ「花の小道」

横浜の花で彩る大花壇から、谷戸のカキツバタ園を結ぶ小道。新緑の中を散策しながら横浜の在来の花と緑に出会えます。



観客誘致・広報宣伝計画

「港町横浜の歴史」と「郊外部の緑豊かな里山文化」等の観光資源を活用し
 様々な広報媒体によるPRや多彩なプログラム作りにより全国から来場促進を図ります。

連携・相乗効果の実現

観客誘致	広報宣伝	行催事	営業参加	協働推進
<ul style="list-style-type: none"> 様々なエリアや幅広い層からの誘客を図る。 観光資源を活用。 花を中心とした情報を効果的に提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> メイン会場及びパートナー会場の魅力を広報。 テレビ、ラジオ、インターネットメディアなどの様々な広報媒体を活用したPRをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民、企業、学術関係者等と連携して行催事を実施する。 花と緑の魅力を感じ、楽しむことができる行催事を展開し、フェアの理念を浸透させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食、公式グッズ販売を含めた、物販出店を中心に展開する。 みなとガーデン、里山ガーデンの会場特性を踏まえた展開とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働の仕組みを活用、市民、学校、企業などの参加を促進。 横浜市だけでなく多様な主体との協働により、フェアを実施する。

実施案

<ul style="list-style-type: none"> 様々なエリアからの誘客展開 シンボルキャラクターを活用 開花時期に合わせた観客誘致 事前のPR活動 	<ul style="list-style-type: none"> マスメディアの活用 交通広告 インターネットメディアの活用 ポスターなどの広報ツールの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 公式行事 コンテスト 屋内展示 屋外展示 主催イベント 連携イベント 応援イベント等 	<ul style="list-style-type: none"> 公式グッズの販売 飲食サービス 物販の展開 フェアオリジナルグッズの展開 	<ul style="list-style-type: none"> 市民(個人・団体)、学校、企業、団体との協働 区役所との連携等 商店街、商業施設等との連携
--	--	--	---	---



©ITOON/GN2017

シンボルキャラクター展開による誘客展開
 広報ツールの活用
 公式グッズの販売



オープニングセレモニー
 ((ex)あいちフェア)



営業参画(キッチンカー)
 (イメージ)





閉会式
 ((ex)あいちフェア)



小学校花壇(イメージ)

会場運営管理計画

各会場の適切な運営管理を行い、植物維持管理ではボランティアが参画し、市民との協働を進めます。
 公共交通機関の利用を促進し、適切な誘導サインを設置して円滑な移動を図ります。

会場運営	ボランティア	交通輸送
<p>みなとガーデン</p> <ul style="list-style-type: none"> 各会場の管理方針等に則り、管理、運営を図る。 案内所の開設時間は9時～17時 <p>里山ガーデン</p> <ul style="list-style-type: none"> よこはま動物園ズーラシアと運営、維持管理について、十分な連携を図り、実施する。 閉園日は設けない。(案内所の開設時間は9時半～16時半) <p>会場運営本部</p> <ul style="list-style-type: none"> みなとガーデンに設置し、情報集約、発信等、全体の統括を行う。 運営本部を横浜赤レンガ倉庫1号館2階に設置する。(開設時間8時～22時) 	<ul style="list-style-type: none"> 会場内花壇の植物維持管理補助を行うボランティアを募集する。 ボランティアが植物の知識や植物管理の技術を身に付け、後の活動につながるよう、作業のアドバイスや研修等を実施する。  <p>ボランティア ((ex)あいちフェア)</p>  <p>インフォメーション ((ex)あいちフェア)</p>	<p>みなとガーデン</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の利用を促進し、駅から会場までのサイン設置により誘導を図る。 <p>里山ガーデン</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の利用は、最寄り駅(中山駅、鶴ヶ峰駅、三ツ境駅)からの路線バス利用を基本とする。 自家用車利用は、ズーラシアと連携した駐車場運営や交通対策を実施する。 徒歩利用は最寄り駅からの適切な誘導サインを設置する。 土日祝日は中山駅周辺からのシャトルバスの運行を検討する。 子どもたちが乗り物を楽しみ幅広い年代の来場者が円滑に回遊できるよう、会場内の移動バスを運行。(有料)

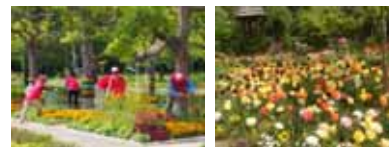
全市展開

- よこはまフェアの展開の方向性である「ガーデンネックレス」を市全体でつなげるため、市民や各区等と連携、協力した事業を行い、よこはまフェアを全市的に盛り上げます。
- よこはまフェアの来場者に会場だけでなく市内各地にあるそれぞれの花や緑の見どころを発信します。

地域のガーデンネックレスを実現

横浜の各地の魅力を発信

市民協働・市民活動を発信



市民花壇の作成(ex)しずおかフェア



花と緑紹介ガイド
 (ex)東京フェア



パートナー会場の設定・18区連携
 (ex)あいちフェア、東京フェア